



令和6年7月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 316(2024年7月)

■公式ホームページリニューアルのお知らせ

当館では、開館記念日の7月1日、公式ホームページをリニューアルオープンいたしました。

より使いやすいホームページを目指して、デザインとページの構成を全面的に見直しました。またスマートフォンやタブレットでの表示に対応しましたので、デバイスを問わずに快適に閲覧いただけます。

開館66年目を迎え、これまで以上に利用者の皆さまのお役に立てるよう、より一層のサービスに努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

松竹大谷図書館公式ホームページ <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>



目次:

公式ホームページリニューアルのお知らせ	1	新たに資料をご寄贈くださった方々	4
「中央区まちかど展示館」【夏休みスタンプラリー&クイズ】と関連展示「懐かしの映画パンフレット-松竹会館で観た、思い出の映画たち-」開催中です！	2	新着資料案内	4
歌舞伎座筋書「レトロ写真館」連載：7月「名コンビ・名カップル」	2	新規登録資料案内	5
松竹大谷図書館所蔵 歌舞伎映画作品集 衛星劇場にて好評放送中！	3	公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	5
所蔵資料紹介 [16]-『裏表太閤記』初演台本、プログラム-	3	松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い	5
		夏期休館のお知らせ	5
		利用案内	6

■「中央区まちかど展示館」【夏休みスタンプラリー&クイズ】と関連展示「懐かしの映画パンフレット—松竹会館で観た、思い出の映画たち—」開催中です！

7月1日より、当館が参加している「中央区まちかど展示館」の【夏休みスタンプラリー&クイズ】が始まりました。8月30日までの期間限定です。

スタンプラリーとクイズがコラボした夏の特別企画。今年の当館のクイズは「松竹会館」の映画館についての問題です。「松竹会館」は、現在、松竹大谷図書館が入るビル「銀座松竹スクエア」が建つ地に2000年まであった建物で、今年の当館のクイズはこの松竹会館の映画館についての問題です。さて、一体どんな問題でしょうか？地区別に指定された数の展示館スタンプを4カ所以上集め、各館に1問掲示してあるクイズの答えを5問以上答えて応募すると、正解者の中から抽選で、各館提供の素敵な景品が当たります。当館の景品は、クリアしおり「侠客春雨傘」です。



▼【夏休みスタンプラリー&クイズ】のページはこちら
https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/stampally_summer2024.html

そして、このクイズに関連して、現在当館閲覧室にて、「懐かしの映画パンフレット—松竹会館で観た、思い出の映画たち—」と題して、関連資料をご紹介します。

1956年から1999年の間に松竹会館内の映画館で上映された映画のパンフレットをブックトラックに並べました。開館当時の松竹会館について知ることのできる「松竹会館落成記念」冊子も展示しています。また、期間中4作品のポスターを毎週展示替えでお見せいたします。展示にはクイズのヒントも隠れていますので、夏休みスタンプラリー&クイズで当館にご来館された折には、こちらの展示もぜひご覧ください。



展示風景

ブックトラック資料紹介

「懐かしの映画パンフレット

—松竹会館で観た、思い出の映画たち—

開催期間：令和6(2024)年6/28-8/2 平日：10~17時(休館日：土日祝日、毎月最終木曜日)/開催場所：当館閲覧室/入館無料

■歌舞伎座筋書「レトロ写真館」連載：7月「名コンビ・名カップル」

当館デジタルアーカイブより、選りすぐりの歌舞伎ブロマイドをご紹介します。歌舞伎座筋書の連載「明治大正昭和 レトロ写真館」。今月7月のテーマは「名コンビ・名カップル」です。

レトロ写真館に掲載した写真のうち、こちらにご紹介する一枚は『夕ぎり伊左衛門』です。扇屋夕霧と藤屋伊左衛門は、現在よく上演される『廓文章』でもお馴染みの名カップルですが、こちらは明治45(1912)年2月新富座で上演された渡辺霞亭脚色による作品です。夕霧が生き別れとなっていた兄と再会する場面や、伊左衛門が母親に勘当され紙衣を着て家を出ていく場面、夕霧が身請けされる寸前で伊左衛門の勘当が許される場面などがあり、上中下三幕ものとなっています。

伊左衛門を当り役とした初世中村鴈治郎と、鴈治郎の女房役として活躍した四世高砂屋福助の夕ぎりを書したこの銀座上方屋製の絵葉書ブロマイドからは、明治期の大阪の俳優の華やかでおっとりとした雰囲気が伝わってくるようです。

《松竹大谷図書館所蔵・演劇写真検索閲覧システム》

https://www.dh-jac.net/db/butai-photo/search_sol.php



■松竹大谷図書館所蔵 歌舞伎映画作品集 衛星劇場にて大好評放送中！

この5月より、当館所蔵の歌舞伎映画をCS放送「衛星劇場」にて半年にわたって特集放送しております。7月は『連獅子』と『喜撰』です。

『連獅子』は、昭和24(1949)年1月東京劇場の舞台を撮影した作品です。舞踊の名手であった二世猿之助(初世猿翁)と三世段四郎親子の『連獅子』は評判の舞台で何度も上演されました。獅子がわが子を谷底に落とし、這い上がってきた強い子だけを育てるという伝説をテーマにした作品だけに、前ジテの親子の情愛が真実味を持ち、後ジテの勇壮な獅子の舞とともに観る者を引きつける大きな舞台でした。

『喜撰』は、昭和24(1949)年10月新橋演舞場公演の千穂楽後、映画用に撮影した作品です。七世三津五郎は、同世代の偉大な名優六世菊五郎に「踊りではかなわない」と言わしめた舞踊の名手でした。その独特の飄飄とした柔らかさ、軽妙な間をお楽しみいただける貴重映像です。10月本興行では歌舞伎俳優が演じたお梶を、映画撮影のために特別に新派女優・初世八重子が演じているのも、見どころのひとつとなっています。

当館の創立者・大谷竹次郎が歌舞伎の名舞台を映像に残そうと尽力した、貴重な歌舞伎映画フィルムです。この機会に、ぜひご覧ください。

詳しくは衛星劇場の「歌舞伎ラインナップ」特設サイト(<https://www.eigeki.com/special/kabukilineup>)をご覧ください。

<7月放送予定>

19日(水)午後3:30～

『連獅子』1949年撮影 / 1951年制作

[出演]二世市川猿之助(初世猿翁)、三世市川段四郎

・7月13日(土)後5:00～

・7月31日(水)後3:45～

『喜撰』1949年制作

[出演]七世坂東三津五郎、初世水谷八重子

・7月13日(土)後5:15～

・7月24日(水)後3:20～



『連獅子』



『喜撰』

■所蔵資料紹介 [16]—『裏表太閤記』初演台本、プログラム—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー「所蔵資料紹介」。今回ご紹介する資料は、『裏表太閤記』初演の台本とプログラムです。

初演は昭和56(1981)年4月明治座で、上演タイトルは『千成瓢猿顔見勢 裏表太閤記』でした。三世市川猿之助(=二世市川猿翁)が手がけ、脚本は奈河彰輔、演出は六世藤間勘十郎。昼夜通しで上演された大作でした。当館はこの初演の台本と劇場プログラムを所蔵しております。

また、当時の劇評やグラビアが掲載された「演劇界」や二世猿翁の後援会誌「おもだか」なども所蔵しています。二世猿翁の芝居への情熱が感じられる資料です。カウンターにてご請求いただければ閲覧室でお読みになれますので是非ご来館ください。

台本は当館HPの「資料検索」にて検索可能です。
<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>



『裏表太閤記』初演の台本(左)とプログラム(右)

新たに資料をご寄贈くださった方々

(敬称略・順不同/2024年5月まで)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、無声映画鑑賞会、帝国劇場、公益社団法人 企業メセナ協議会、株式会社日本舞踊社、劇団俳優座、シナリオ・センター、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、黒澤明研究会会誌、国立映画アーカイブ、文学座、春本泰男、若林さだ吉、有限会社合同通信社、樽松大剛、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、人形劇団ブーク、常磐津節保存会 会長 常磐津文字太夫、大塚秀郎、篠原恒男、愛知県美術館、こまつ座、国立劇場、一般社団法人日本民間放送連盟、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、日本劇作家協会、シアタークリエ、キネマ旬報社、OMS戯曲賞事務局、株式会社カモミール社テアトロ編集部、公益社団法人日本照明家協会、松岡亮、公益財団法人阪急文化財団、関西大学なにわ大阪研究センター、日本映画テレビプロデューサー協会、銀座百店会、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、東宝株式会社ライツ事業部、おとなのデジタルTVナビ編集部、公益社団法人日本劇団協議会、早稲田大学演劇博物館、国立歴史民俗博物館、青年団/有限会社アゴラ企画、劇団民藝、(株)近代映画社、玉川大学教育博物館、特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)、昭和女子大学近代文化研究所、一般社団法人伝統歌舞伎保存会、公益社団法人 国際演劇協会、公益財団法人日本近代文学館、京都精華大学講師 浅野久枝、劇団青年座、早稲田大学演劇映像学会、一般財団法人映画倫理機構、新国立劇場情報センター、日本アカデミー賞協会

どうもありがとうございました

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系6月演劇公演資料◆		○… 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『上州土産百両首』	○	○		
	『義経千本桜 時鳥花有里』	○	○		
	『妹背山婦女庭訓 三笠山御殿』	○	○	○	○
	『南総里見八犬伝 円塚山の場』	○	○		
	『山姥』	○	○		
	『新皿屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』	○	○		
新橋演舞場	『スマイル フォーエバー ちょいワル淑女と愛の魔法』			○	
三越劇場	『螢』	○		○	○
	『喜劇 お江戸みやげ』	○			
松竹座	『ヤマトタケル』	○		○	○
南座	『口上』				
	『阿古屋』解説』			○	
	『壇浦兜軍記 阿古屋』	○			
	『第31回京都五花街合同公演 都の賑い』				
御園座	『怪談 牡丹燈籠』	○		○	
博多座	『修禪寺物語』	○			
	『新古演劇十種の内 身替座禪』	○			○
	『恋飛脚大和往来 新口村』	○			
	『通し狂言 東海道四谷怪談』	○			

◆他社演劇公演資料(4月-6月)◆(順不同) ONEOR8『かれこれ、これから』シアタートップスプログラム/JACROW『地の面』シアタートップスプログラム/TAAC『静かにしないで』下北沢シアター711プログラム/劇団チョコレートケーキ『白き山』下北沢駅前劇場プログラム/wag.『物語ほどうまくはいかない物語』下北沢小劇場楽園プログラム/KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『ライカムで待って』神奈川芸術劇場中スタジオプログラム/劇団扉座『ハロウィンの夜に咲いた桜の樹の下で』座・高円寺1プログラム/『デカログ5・6』新国立劇場小劇場プログラム/演劇集団アトリエッジ『ちはやぶる神の国 異聞・本能寺の変』博品館劇場プログラム/あ・うん・グループ『セブンスヒーロー』博品館劇場プログラム/座・時代劇さとの組『舞台 戦国美男砦』博品館劇場プログラム/『虹のかげら もうひとりのジュディ』博品館劇場プログラム/ミュージカル『ナビレラ

それでも蝶は舞う』シアタークリエプログラム/『Endless SHOCK』帝国劇場プログラム/『薄桜鬼 紫蘭管弦宴』東京オペラシティコンサートホールプログラム/ASPイツフォーリーズ『ミュージカル鉄鼠の檻』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム、台本/新宿梁山泊『おちょこの傘持つメリー・ポピンズ』花園神社境内特設紫テントプログラム/『ハワイ大学地歌舞伎特別公演』ぎふ清流座プログラム/『令和6年5月文楽公演』シアター1010プログラム/『第105回歌舞伎鑑賞教室』サンパール荒川プログラム

◆映画資料◆(順不同)『ハロルド・フライのまさかの旅立ち』ポスター、プレス、パンフレット/『九十歳。何がめでたい』ポスター、パンフレット

◆映画パンフレット◆(順不同)『チャレンジャーズ』『風の奏の君へ』『THIS MAN』『ザ・ウォッチャーズ』『ONE LIFE 奇跡が繋いだ6000の命』『TBS×rkbドキュメンタリー映画祭』『映画 からかい上手の高木さん』『告白 コンフェッション』『ドライブアウェイ・ドールズ』『明日を綴る写真館』『ナイトスイム』『ディア・ファミリー』『オペラ座の怪人』『ブルー きみは大丈夫』『ホールドオーバーズ置いてけぼりのホリディ』『バッドボーイズ RIDE OR DIE』『映画 おいハンサム!!』『マッドマックス:フェリオサ』『マシュー・ポーン IN CINEMA ロミオとジュリエット』『わたしはロランス』『流星』『金玉満堂 決戦!炎の料理人』『ニキフォル 知られざる天才画家の肖像』『ジャン・コクトー/ジャン・マレー回顧上映 きみとぼく 美女と野獣 オルフェ 悲恋』『バッド・エデュケーション』『Mommy マミー』『ありがとう、トニ・エルドマン』『スウィート・シング』『存在のない子供たち』『パターンソン』『スレイブメン』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2024年July/『KENSYO』Vol.133/『SAKURA TIMES』Vol.45,Vol.46,Vol.47/『act guide [アクトガイド]』2024 Season 20/『あぜくら』2024年6月号/『ほうおう』2024年8月号/『ステージびあ関西版』2024年3月+4月号,5月+6月号/『ラ・アルプ』2024年6月号,7月号/『喝采』2024年9月,10月/『劇評』第27号/『大向う』令和6年6月号,7月号/『日本照明家協会誌』2024年6月号/『日本舞踊』76巻7月号/『悲劇喜劇』2024年7月号/『文化座』199号

◆映画雑誌◆(順不同)『FLIX』2024年8月号/『SCREEN』2024年8月号/『おとなのデジタルTVナビ』2024年8月号/『キネマ旬報』2024年7月号/『シナリオ』2024年8月号/『シナリオ教室』2024年7月号/『ドラマ』2024年7月号/『ピクトアップ』2024年8月号/『ムービー・スター』2024年8月号/『映画テレビ技術』2024年7月号/『映画撮影』No.239/『映画時報』2024年5月号/『映画秘宝』2024年8月号/『月刊トドロキ・ユキコ』45号/『日経エンタテインメント!』2024年7月号/『文化通信ジャーナル』2024年7月号

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『女形の美学 たおやめぶりの戦略』『鶴屋南北未刊作品集 第三巻 鶴屋南北・直江重兵衛篇』『鶴屋南北集』『蔵書目録 映画篇 2022年』『日本劇映画作品目録 令和2年』『日本劇映画作品目録 令和4年』『日本劇映画作品目録 令和3年』『ひとつの音に世界を聴く 武満徹対談集』『東宝時代劇映画桜花爛漫 一九四五―一九七二』『大島依提亜と映画パンフ』『杉並にあった映画館 郷土博物館分館企画展』『活動弁士の映画史 映画伝来からデジタルまで』『活動写真弁士 映画に魂を吹き込む人びと』『映画村めぐり 「カムカムエブリバディ」の舞台』

『蒲田映画祭10年史 映画のチカラ』『松竹映画製作配給等作品記録』『小津安二郎』『小津安二郎の審美眼 生誕120年没後60年 開館25周年記念』『小津安二郎展 生誕120年没後60年』『井上梅次 創る心 Umetsugu Inoue Creative Mind』『HIDEKI FOREVER blue』『月丘 夢路 芍薬な月 Yumeji Tsukioka Moon and Peony』『古厩智之』『池谷仙克アトワークス』『日本映画界における「甲斐荘楠音」の功績』『君たちはどう生きるかGuide Book』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和6[2024]年6月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》(※2024年7月1日改定)

- 開館時間 10:00～17:00 ※ご予約なしでご利用いただけます
- 閲覧予約サービス
閲覧席及び閲覧資料の事前予約ができますので、ぜひご利用ください。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)
- 手指消毒用のアルコールをご用意しております。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

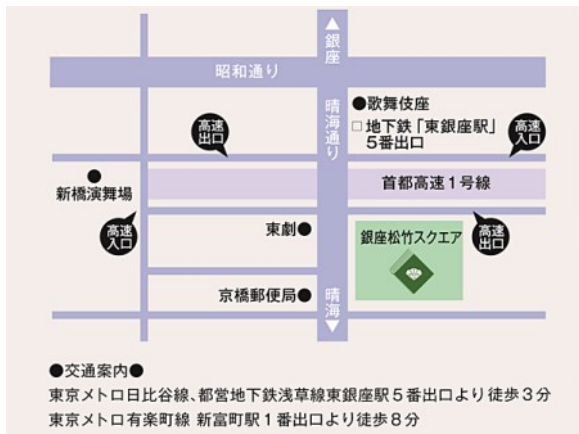
松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/current_usage_20240701/

夏期休館のお知らせ

図書管理システム入替のため

令和6年8月3日(土)～9月1日(日) 休館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X

